

橋頭の南西八磐嶺にも鐵鑛床存在せり。
遼陽海城間の鐵鑛

兩者間の鐵道沿線に二個所に鐵鑛床露出す。

1 鞍山站

2 鞍山站の南にある湯崗子の東

鞍山站の鐵鑛

鞍山站の北鐵道線路に沿ひ近く露出す露頭の延長13000尺ありて厚さ300尺に達し硅岩と帶狀をなすもの多きも良好なる部分100尺以上あり。

鞍山站鐵山は日支條約により我國にて採掘權を獲得したるものにて鑛質は赤鐵鑛にして品位稍劣れるも(平均30パーセント)鑛量の豊富なる點に於ては大冶鐵山に匹敵し得べく將來鐵の供給者たるの位置にあるへし。

湯崗子の鐵鑛

東方にある鐵鑛床は鞍山站の南西にあり磁鐵鑛にして赤鐵鑛を含有し鑛石は平均30パーセントの鐵を含めり。

化銅溝に於ける鐵鑛

遼東の沿岸李家村の西約二里半の地にあり鑛石は磁鐵鑛とす。

鐵嶺附近の鐵鑛床

北滿州に於ては奉天の北方四十四哩鐵嶺附近に一鑛床あり概して滿州北部は所々に鑛層散在する如けれども未だに開掘せられたるものなし。

(へ) 暹羅に於ける鐵鑛分布

暹羅に於て鐵鑛は黃鑛鐵として廣く散在せり褐鐵鑛として有名なる地は Pichai の北東 Nam Pi 溪谷附近又は北暹羅に於ける Lakhon 地方なり。

赤鐵鑛としては Chieng Kan に出現せり。

Chieng Kan に於ける赤鐵鑛層は可なり地域に擴かれり又 Nam Pi 及 Lakhon の褐鐵鑛層は過去に於て稼行せられたることあり要するに其鑛量等に就ては明ならず。

(ト) 比律賓に於ける鐵鑛分布

Luzon 島に鐵鑛の存在せることは以前より知悉され Tar-Infanta 州東部境界を形成せる山脈に鐵鑛を産し土人は之を原料として小規模の製鐵業を營み居れり。

鐵鑛は一般に蛇紋石と結合して出現し赤鐵鑛又は磁鐵鑛よりなる鑛量は精密なる測定は不可能とするも大略五十萬乃至八十萬噸と見れば大差なかるへしと云ふ。

又ルゾン島の北東沿岸の マムビエラオ附近に赤鐵鑛を産す其質良好にして鑛量も大なりと云ふ

(チ) 英國領土に於ける鐵鑛分布

(錫蘭、海峽殖民地、マレー諸島、英領北ボルネオ及ヒサラワツクの鐵鑛分布)

1. 錫蘭

鐵鑛床の著名のものは Ampitiya, Hanguanketa 及ヒ Nuwara Eliya, Bodulla, Bandarawela 周囲の地方各所に存在せるものなれとも分布状態甚だ不規則にして且つ輸出する程の量を産せず Nuwara Eliya より二哩半の地點 Central Province の Ambawella に至る街道に於ての赤鐵鑛は 50.6 パーセントの鐵を含有せり又 Uva Province の Bandarawela 附近 Gonamutawa Estate よりの不純 Limonite は 48.1 パーセントの鐵を含くみ Central Province の Sri Pada Kota に於けるものは 55.6 パーセントの鐵を含めり。

2. 海峽殖民地及馬來聯邦